



平成26年9月1日現在	
総世帯数	1,475世帯
総人口	2,766人
男	1,285人
女	1,481人

### 我が町紹介 南源地

町会長 秋山 博見

全百四十二世帯、四班に分かれており一班八組三十三世帯、二班六組三十七世帯、三班七組三十四世帯、四班六組三十八世帯で各班長、各組長が諸連絡や配布物等を行う。

年間行事としては一月二日、深志神社本殿にて新年祈願祭を行い一年が始まる。同じく一月中旬新年会を町内公民館(瑞松寺様をお借りしている)にて行う。

四月に入り厚生部主催にて七十歳以上ご招待の敬老花見会を催す。同じく四月定期総会を行う。五月町内一斉清掃、河川清掃を衛生部主催にて行い、合わせて青年部提供の花の苗(二百株)とプランターの土を希望者に配布する。

七月二十四日天神祭りには青年部主催による御輿かつぎが行われる。これは青年部員が手造りした御輿で三十年以上続いている町内メイン行事



となつている。現在青年部員は二十二名。九月衛生部主催の秋期一斉清掃、河川清掃。十月防災部主催にて自主防災訓練を行う。消火器、担架の使用方、炊きだし等毎年内容をかえ行う。十一月、公民館主催による敬老そば会を七十歳以上ご招待にて行う。十二月、青年部主催による年末警戒を行って一年を締める。

以上大まかな年間行事を紹介しましたが、今後の予定として町会で農園を借り希望者に使っていただく様なことを計画しています。

又町内には毎月、日を決めて集まる気寄り無尽の様な会が有り、二日は「三河屋」さん、二十日は「大野屋」さんにて「みんな源地会」、二十六日は「呉竹」さんにて三十年以上も続いている。集まり飲んで語り合つて、その事が町内の「和」につながり、まとまりのある町会の基だと思ひます。飲みすぎない様に体をいたわりながら楽しく、長く続いていきますことを願ひつつ紹介を締めます。

### ドッグホテルおもしろ記

中条東第二町会 井野根美智子

我が家には14歳になるハスキーのオスと4歳になるミニチュアシナウザーのメスの犬がいます。

さらに犬好きが高じて、十数年前より始めたドッグホテルの犬たちが集まると住人の数よりも多くなることもしばしばです。

人間と同様に性格はさまざま、陽気で人も犬も大好きな犬もいればシャイでなかなか気を許さずの様子を見ている犬もいます。怖いのはお互い様。咬まれたりすることもありますが叱ったり、誉めたりを繰り返して時間をかけて



不安を取り除くよう気を遣います。それを感じてか犬たちも少しずつ心を開いてくれて、「このオジちゃんもオバちゃんも大丈夫」と体を触らせてくれるようになって、抱っこが出来るようになればひと安心。「ホッ」とする瞬間です。

犬たちと関わるうえでコミュニケーションの時間は特に大事なことです。もちろん散歩はしますが、お預かり中に気分転換を兼ねて外へ写真を撮りに出かけます。カメラマンは主人。助手は私です。犬たちは写真は苦手なようでキョロキョロ、舌をペロペロ。緊張のサインです。カメラマンは「耳を立てて」「オジちゃんを見て」と容赦なく注文をつけますが、「そこまですなくても」と助手の私はひとり言。笑ったような表情で撮れたときは嬉しい限りです。

### 絵画サークル



「すすきの川と桜花」 都筑 良

その写真はお迎え時に飼い主に差し上げています。犬好きな夫婦が始めたドッグホテル、何年やっても課題は多いものです。もっともつと犬の表情やしぐさなどのポディーランゲージを理解しながら犬との対話を楽しみ、お預かり中できるだけ負担をかけるに元気で我が家に帰ってもらえるように気力、体力が続く限りこの可愛い犬たちとの時間をすごしたいと思つています。

**案内板**

**文化祭のお知らせ**

今年は…

**11月8日(土)**

**11月9日(日)**

に開催します。

バザー用品も随時受付けています。ぜひご協力をお願いします。

# 第二地区盆踊り大会

平成26年8月12日(火)

第二地区盆踊り大会が八月十二日の夜に盛大に行われた。朝から降っていた雨も夕方には止み、涼しい中で精一杯踊ることができ、参加者はこの幸運を喜び合った。



抽選会



## 盆踊りの歴史

盆踊りは民族芸能の一つで、うら盆を中心に行われる踊りの総称である。老若男女が寺や町の広場・新盆の家の庭で踊ったこと、また、古代男女の求婚の歌垣や空也の踊り念仏がもっているともいわれるが定かではない。

室町時代になると全国に広まり、精霊を慰めるためという意味で仮装したり、揃いの衣装で踊るようになったが、盆踊り特有の型ではない。振りは簡単なものが多く、七夕踊り・太鼓踊り・おけさ踊り・阿波踊りなど多様である。櫓を組み、櫓の上に太鼓・笛・鉦の囃し方・歌い方がいて、踊り手はその周りを踊るのが普通である。また、道路を踊りながら進む道行形式のものもある。

有名なものには徳島の阿波踊り・秋田の西馬音内踊り・岡山県の白石踊り・大分県の鶴崎踊り・沖縄のエイサーなどがある。



会場係の準備



## 福祉ひろば視察研修 ちこり生産ファームを訪ねて

日本の食糧自給率を上げるために自分たちが地元で出来ることから始めようと、西洋の野菜の挑戦をしている「ちこり村」を訪ねました。

「ちこり」とはヨーロッパのキク科の植物で、キャベツやレタスと食感が似ていて、低カロリーでヘルシー。根株(芋)は焼酎として醸造していて、当日、試飲した参加者にも好評でした。

これからの「ちこり村」は地元の活性化を考え、まだまだあまり知られていない「ちこり」で、地域の高齢者雇用・商業・観光・文化活動などを考えた一体型施設を目指して、さらに挑戦を続けていくとのこと。将来の農業の方向性をみた視察研修でした。



ちこり

## すすき川

最近、近しい人が高齢者施設に相次いで入所していた。独身を通したため、子供がなく兄弟は亡くなる。身体が不自由になり一人暮らしが困難になり、施設入所しか生活が難しくなつた。ある人は、病気で手助けなくては生活できないが、つれあいも病気になる、子供達は生活のため働きに出なければならず、面倒を見られない。同様の人は他にもいた。

又都会で一人暮らしをしていた高齢の婦人は、転倒骨折を期に、入院・老健入所を繰り返した後、遠方にいる甥が通いきれなくなり松本の施設に入所手続きをした。こんな方もいる。病院の転院を繰り返して今の病院から施設入所をと言われているが、受けてくれる施設がない。と困惑の高齢のつれあいがいる。身につまされる話ばかりで寂しくなる。介護保険が出来て十数年になるが、それ以前と今との変わった社会情勢に驚いてしまう。昔も老人は多勢いたはずだ。その人々はどう暮らしていたのだろうか。そんな私も一人暮らしの高齢者だ。心して過ごさなければと思うこの頃だ。(清水)